

2023年5月27日

## 臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

プラチナ併用化学療法を施行した進展型小細胞肺癌における予後予測因子としてのGNRI およびPNI の有用性

### 2. 研究責任者

海南病院 呼吸器内科 中尾心人, 木下亮輔

### 3. 研究の概要

Geriatric Nutritional Risk Index (GNRI) およびPrognostic Nutritional Index (PNI) は血清アルブミン値や末梢血リンパ球数、現体重、理想体重などで算出できる簡便かつ有用な栄養指標であります。様々な固形癌の予後予測因子として報告されており肺癌でも有用とされておりますが、報告の大部分が非小細胞肺癌における検討となっております。小細胞肺癌におけるGNRI およびPNI の有用性について報告した論文は少なく、実臨床における小細胞肺癌患者の予後とGNRI, PNI の関連性については十分な検討がされていない状況です。

そこで、当院で診断および治療された進展型小細胞肺癌患者さんの予後と1次治療前のGNRI およびPNI の関連性についての検討を主目的とした後方視的な臨床研究を行うこととなりました。具体的に対象とするのは、2009年2月から2019年3月に小細胞肺癌と臨床診断され、プラチナ併用化学療法（免疫チェックポイント阻害薬併用例を除く）を行った方です。GNRI およびPNI の算出は、実臨床において採血と体重測定のみで可能であり、また後方視的に対象となった方の背景や治療開始前後の臨床的特徴を把握することは、研究対象者への不利益及び危険性も無く、また今後の肺癌臨床を行う際に有用な情報が得られるものと期待されます。

### 4. 研究方法

#### ① 対象となる患者さん

2009年2月から2019年3月に小細胞肺癌と診断されプラチナ併用化学療法（免疫チェッ

クポイント阻害薬併用例を除く) を行った患者さん。

② 使用する試料等

残余検体：使用しない。

カルテ情報：使用する。

カルテ情報から、治療開始時の患者背景や検査データ、および治療後の経過などを後方視的に抽出します。尚、データ収集は西暦 2023 年 5 月 25 日時点でのデータを基準とします。

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 呼吸器内科 中尾心人, 木下亮輔

電話：0567-65-2511 (代表)